



次世代という新しい現実

令和6年1月25日

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

産業における新しい生産性、技術革新、社会の効率性の向上など、これらはソサエティ5.0、IoT、デジタル革命、インダストリー4.0という現在における潮流の真実なのである。

これらは社会革命を与え、完全な社会転換を有するものである。これらは既存社会の完全な崩壊と新しい未来の創造を有するのである。

これらは政治におけるこれら理解が新しい未来の創造を実現していることを意味する。

これらは生産拠点を問わず人件費を問わず新しい生産開発環境が、グローバル環境において模索できることを意味する。

また、これらは新しい産業における技術基準などが既存判断と完全に乖離することを意味する。先端産業における技術要求や、資本要求は、新しい必要性を与えるのである。

これらは経済政策の転換を求め、既存産業基盤が飛躍し新しい自己基準における現実への参加を要求されるものである。

また軍事宇宙産業における新しい基準や技術要求は、自己転換とともに、これら先端性を早急に構築しなくてはならない。

これら産業の転換と社会転換は、同時に経済政策と新しい社会インフラ整備における政治の決定とプレゼンスを要求するのである。

これらはまた大学環境の整備と再編を要求するものである。

これら変化という現実へ政治における指導や介入、計画と統制を得ることは、その必要性を得るものとする。

これらは税収の計算と財政計画、新しい税制への転換など、デジタルマネーやデジタル社会における行政環境への転換などそれら全ての必要性が存在するのである。